

I Tを利活用した水産物の販売

公立はこだて未来大学 教授 長野 章

1. 水産物流通の特性

→水産物は多段階流通

2. トレーサビリティの必要性和 I Tの導入

(ア) トレーサビリティの必要性

- ① 消費者の考えていること
- ② 生産者/生産地からの必要性

→誰が必要としているか？生産者か、それとも消費者か？

(イ) 生産者が使える I Tシステム

- ① トレーサビリティシステムの原則
- ② 現実に適応できるシステム

→現実的なシステムを考える！

(ウ) 十三湖のシジミの実例

- ① システムの概要
- ② トレーサビリティシステムの成果
- ③ 他のシジミとの比較

→実用化された十三湖のシジミのトレーサビリティ

(エ) 他の実験事例

→他の事例は、なぜ実験だけで終わるか？

3. I Tを利用した流通支援システム

(ア) 流通支援サイト

→I Tを使って水産物の販売をやる試み

(イ) 養殖昆布オーナー制

- ① 養殖昆布オーナー制の概要
- ② 昆布養殖サイトへのアクセス
- ③ 新しいビジネスモデル
- ④ 漁業者自らの運営を目指して

→南かやべの養殖昆布をI Tを使って販売する

4. 漁業への I Tの利活用と函館の可能性

→函館の水産の可能性は？